

週間漁海況情報 2026年第24号

令和8年6月23日発行

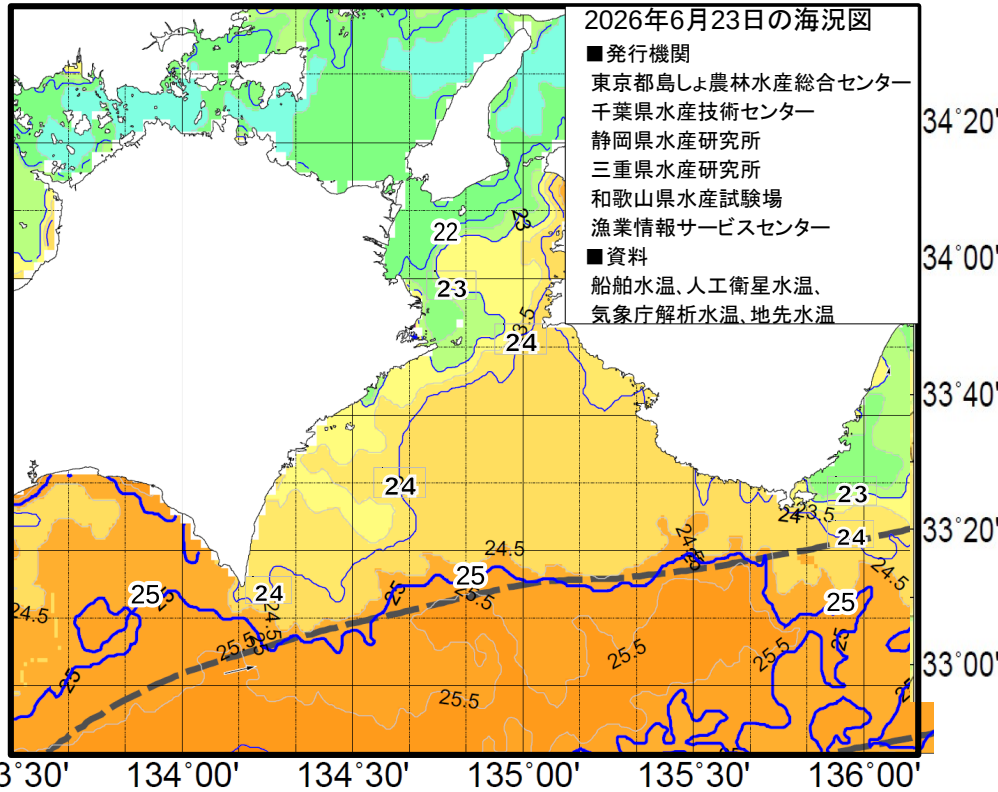
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖20マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は24～25℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で21、紀伊水道で21～23、海部沿岸で23～24℃台となっている。

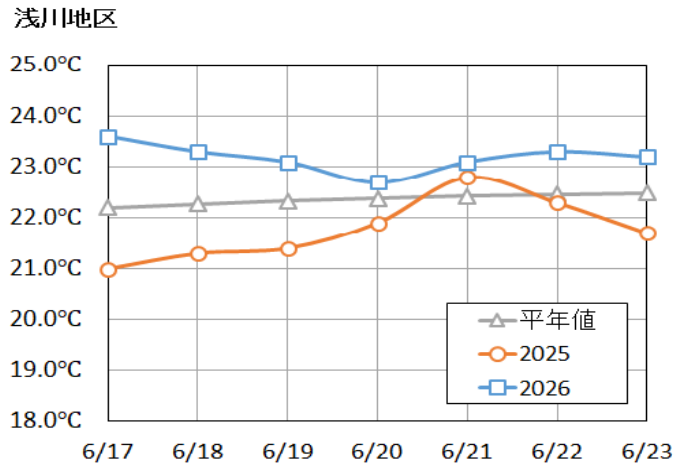
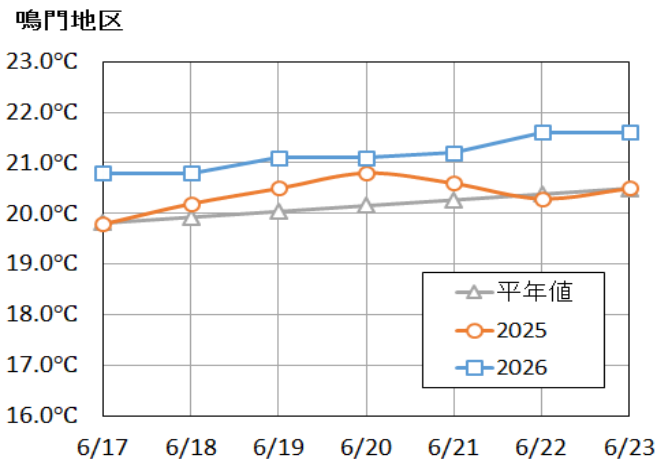


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(6月17日～6月23日)

鳴門地区の水温は、20.8～21.6℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、22.7～23.6℃で「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、1.6～2.8℃だった。



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(6月24日～6月30日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (6月15日～6月21日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って73.8トン水揚げされた。
 延縄では、ハモが減って中主体に4.5トン、あまだい類が0.6トン水揚げされた。
 底びき網では、ハモが中主体に5.1トン、いとより類が増えて小主体に1.1トン、
 マダイが減って0.6トン水揚げされた。
 小型定置網では、イサキが大主体に0.4トン、マダイが減って0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、イサキが増えて0.4トン水揚げされた。
 大型定置網では、マルソウダが大きく増えて1.1トン、イサキが増えて0.4トン、
 マアジが大きく増えて小あじ主体に0.3トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	74	シラス	73,845	998		↘
	延縄	66	ハモ	4,459	68	中主体	↘
		63	あまだい類	558	9		→
	底びき網	28	ハモ	5,052	180	中主体	→
		14	いとより類	1,118	80	小主体	↗
		28	マダイ	579	21		↘
	小型定置網	15	イサキ	350	23	大主体	→
		15	マダイ	333	22		↘
海部沿岸	釣り	42	イサキ	366	9		↗
	大型定置網	6	マルソウダ	1,060	177		↗↗
		6	イサキ	446	74		↗
		6	マアジ	335	56	小あじ主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘